

製品名: D-GPCR ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09957**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	35kDa

抗原情報

遺伝子名	OR51E1
別名	OR51E1; GPR164; OR51E1P; OR52A3P; POGR; PSGR2; Olfactory receptor 51E1; D-GPCR; G-protein coupled receptor 164; Olfactory receptor 52A3; Prostate-overexpressed G protein-coupled receptor; Prostate-specific G protein-coupled receptor 2
遺伝子 ID	143503.0
SwissProt ID	Q8TCB6
免疫原	抗血清はヒト OR51E1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 241-290

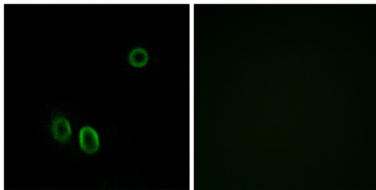
背景

嗅覚受容体は鼻の中の嗅覚分子と相互作用し、匂いの知覚を引き起こす神経反応を開始します。嗅覚受容体タンパク質は、単一のコーディングエクソン遺伝子から生じる G タンパク質共役受容体 (GPCR) の大規模なファミリーのメンバーです。嗅覚受容体は、多くの神経伝達物質受容体やホルモン受容体と 7 つの膜貫通ドメイン構造を共有し、嗅覚信号の認識と G タンパク質を介した伝達を担っています。嗅覚受容体遺伝子ファミリーはゲノム中で最大です。この生物の嗅覚受容体遺伝子とタンパク質に割り当てられた命名法は、他の生物とは独立しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: 嗅覚受容体、類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。組織特異性: 前立腺で高発現しています。胎盤、骨格筋、心臓、卵巣、精巣などの他の組織でも、ごく微量に検出されることがあります。前立腺がんにおいては上昇が見られます。

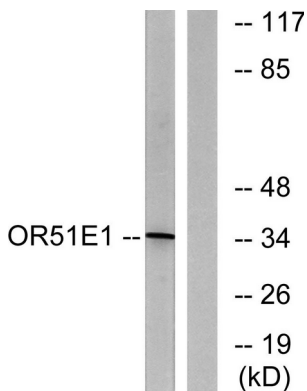
研究分野

嗅覚伝達:

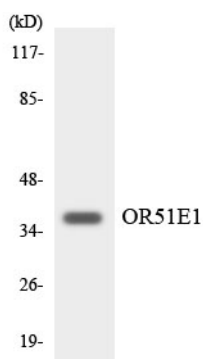
画像データ



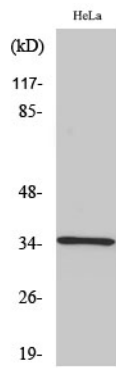
OR51E1 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



OR51E1 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



OR51E1 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



D-GPCR ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析